

学校課題を踏まえた校内研修



1991. 7. 1

第86号

編集・発行
福島県教育庁
会津教育事務所
吾妻幹廣

編集協力
北会津・耶麻・両沼
地教委・連絡協議会
小・中・高学校長

教育活動の一層の充実を

新学習指導要領では、今まで以上に各学校による創意工夫が強調され、その趣旨を踏まえた教育活動の一層の充実が期待されている。
このことは、各学校における校内研修の取り組みにも同じことが言えよう。
自校の課題を踏まえた校内研修という視点から検討を加え、一層充実したものにしたい。

一、研修のマンネリ化防止のため

児童生徒や教師の改善点を集約し、自校の研修課題は何か。全体研究協議会で共通理解を図る。「やりやすい」という安易な考えにとどまることなく、課題の緊急性、重要性等の観点から主題を設定したい。

二、課題に応じた組織を

成方法、検証計画、記録の仕方等について日々工夫し実践していききたい。
研修の受け皿としての組織が万年不変ということはないだろうか。課題や目標達成からみて、必要な係は何かという見方から、組織は追究するテーマや課題に連動したものでありたい。

三、微視的に、巨視的に

研修を進めると、仮説の有効性、研修内容・方法と主題との関連、成果の累積と日常指導への実践化等鋭角的に、微視的に取り組む。これは当然のことであり、望ましい姿と言えよう。
しかし、主題は多くの課題から限定されたものである。時には、人間形成の立場で、学習指導要領の趣旨、例えば、思考力、判断力、表現力等、自己教育力の育成からみるなど、巨視的な視点から研修を振り返る姿勢も大事にしたい。

時折、昔の教え子が訪ねて来ることがある。それぞれにひとり立ちした彼等との語らひは、心なごむひとときとなる。

その折、彼等の口へのぼることの一つに、昔は先生によく叱られたというのがある。そして、ほめられたという話は仲々でてこない。

彼等にすれば、軽い気持での思い出話なのであるが、こちらにしては、冷や汗をかく思いである。

以前のことであるが、ある作家の講演で次のような話を聞いたことがある。

自分は、小学生の頃は作文が大の苦手であった。ある時、宿題の作文がうまくできなくて、姉にねだって書いてもらったことがあった。それを讀んだ先生が、これはすばらしいと大変ほめてくれたそうである。

はじめは、姉に書いてもらったことへのうしろめたさがあったが、何度もほめられていくうちに自分が書いたような気分になり、最後には、先

「ほめる」ということ

会津教育事務所長
吾妻幹廣



生にほめられたという心地よさだけが残ったというのである。

その後は、作文の時間になると、またほめてもらいたい一心から、必死の思いで取り組んだという。そして気がついてみたら、作文が一番の得意科目になっていったというのである。

これは特異な話で、誰にも当てはまることではない。
しかし、「ほめる」ということは、人をその気にさせ、人の一生を左右することがあるということも事実である。

ところで、人をほめるためにはその中味が必要になる。それを可能にするのは子どもを見つめる教師の目である。その目を持つていかどうか、教師としての力量ということになる。

毎日の生活の中で、一人一人の子どもの長所をどう見つけだし、どう伸ばしていくかということが、いま叫ばれている「個性を生かす教育」につながることはないかと思う。

心に残った人々

柳津町教育委員会 教育長 笠 間 富 久



四、五年前のことになるが、出張で県内のM町へ車で出かけた時のこと、町に入ってから道が分からなくなり、ちょうど通りがかった小学校五、六年生かと思われる女の子に道を聞いたことが

あった。見知らぬ人にいきなり道を聞かれ、その上道順がかなり複雑であったにもかかわらず、その少女の説明は、これが小学生の対応かと思われる程、実に簡潔明瞭で要領を得ておるのに驚いた。さらにその少女の言葉遣いがていねいで、道に迷っている私の不安と苛立ちをきれいに取り除いてくれた。私は心から礼を申し別れたのだが、その時以来、明るくてきばきと道を教えてくれたあの聡明な少女が、私の「心に残る人々」の一人として折にふれて思い出すのである。

私もこれまで幾度か人に道を尋ねたり、教えたりしてきたが、分かるように教えるということとはなかなかの難事である。まずその時の状況―相手は車か徒歩か、急いでいるか否か、年齢・性別は、更に相手はどの程度の所まで知っているのか、それらのことを勘案しながら具体的に教えていくには、先ず道を聞かれた本人がその道を良く知っていないならばならない。こう考えてみると道を教えること一つにしても、何やら毎日の授業に似ているように思えてくる。

今日、人々は従来の生産や仕事だけを重視する考えから、生活を楽しむことや、ゆとりを重視する考え方へと変化してきている。そのような中で、生涯学習の基盤整備の必要性が強く叫ばれてきている。

生涯学習は、各人が自発的意志に基づいて行うこと、自己に適した手段および方法を自ら選んで行うこと、いつでも行えること、を基本とすべきである。従って、生涯学習の目的や内容、方法は極めて多様なものとなることとに、十分留意したものである。福島県としても、今年度の重点施策の第一の柱に、「新しい時代に対応した生涯学習の推進」を掲げ、その実現に努力しているところである。

よりには五倍の土地の国で、人口は日本の三分の二ですが、恐らく日本の水の二十分の一しかない国で、会津にきてこんなに水が豊かであることに驚きました。それから、どこでも山々の

復興することができたと思えます。今の時代の子供たちはこれを自覚して、自然の創造主である方と先祖の方々に對して感謝の心で、これからの日本は、国際社会の中で持つて

一、生涯学習推進組織の整備・充実
会津管内の生涯学習推進組織設置状況は、県内で最も多く、平成二年度までに八市町村に及んでいる。

二、学習機会の充実
住民の文化活動圏の拡大や多様な学習要求に

知らない人に助けられて、知っている人々の優しさにさせられたからです。そして会津という恵まれた土地に、もし何か役にたつことがあれば良いと思つたからです。出身はメキシコです。日本

中でも、小さい村の子供でも、皆が学校に行かれることに感動しました。この二つの偉大な恵みのため日本は戦争の傷、戦争が生んだ苦しみと貧しさから、その時の外国の援助に依りて、

うと、昔の守るものもあり、現在の状態に合わないものもあります。組織に守られているだけでなくて、個人の責任を持つて世界と共に歩く人間に成るように。(原文のまま)

二、学習機会の充実
住民の文化活動圏の拡大や多様な学習要求に

三、学習情報提供事業、学習相談体制の充実
本年度、会津高田町では、県とのパソコン通信による「生涯学習情報提供システム整備事業」を実施し、その推進に取り組んでいるが、各市町村においても、住民の生涯学習を援助するため、住民の学習要求に応じた学習の場や方法について、相談を受けたり情報を提供したりできる体制を整えておくことが望まれる。

随想

会津の良さ

和 泉 邦 安 (ホアン・ゴンサレス)



の中で持つている役割を果たすように育てなければならぬ、という

今年度生涯学習モデルを受けた、熱塩加納村をはじめ平成三、四年度には、さらに五町村で予定されているところがあるが、未設置市町村における取り組みが望まれる。

多様な学習要求に対応するため、長部局・各種機関・団体・他市町村の連携、協力を図りながら総合的、体系的な学習機会の充実に努めることが望まれる。



三、学習情報提供事業、学習相談体制の充実

小学校 体育

小学校人
鶴城萬
立市寺
松法
津若常
会津常

新学習指導要領の方針を受けて、体育科でも教え込み・反復練習の授業から、個人差や基礎基本・楽しさや喜びを追求する授業の展開に努めている。

そこで、授業展開にあたり努力していることとして、

一、スパイラル的な単元の指導計画の作成
(基礎基本の定着から自主的な運動へと展開)

二、一時間ごとの基礎基本を大切に主体的に取り組める授業の展開

(一) VTR・絵図等の活用を

研究校紹介

本校は、平成二年度から学校緑化推進委員会助成校として指定を受け、「主体性を伸ばし、人間性豊かな児童を育成するための学校環境はどうあるべきか」を主題として取りあげている。ところで、新学習指導要領の基本方針の中に「心豊かな人間性の育成」があげられている。本校では、「心豊かな人間」とは、自主的・自律的に生きる人間としての心の豊かさであり、自分

通してのイメージ化と技の正しい理解

(二) 個々にあった課題達成のできる場の工夫

(三) 教え合い高め合う態度の育成

(四) 意欲を高める自己評価・相互評価の工夫

これらのことをマット運動を通して実践してみた。

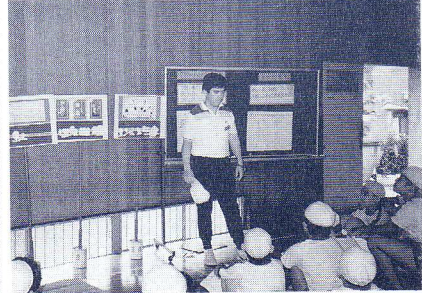
この結果、自分のめあてに向かって、生き生きと運動に取り組む児童が、多く見られるようになった。特に、技能下位の子や倒立や跳び前転等が比較的苦手な女の子たちが、積極的に運動するようになった。

をとりまく自然や「もの」に感動できる心の豊かさである

子どもたちが、自然と積極的にのかかわっていきけるような学校環境づくりを推進している。

新学習指導要領の趣旨を生かした わたしの実践 ④

個々を生かす体育の授業



今後は、自主的に練習の場を利用できる態度の育成を図っていく必要がある。

中学校 音楽

高田町立第二中学校
高嶋純子

美しい音楽に憧れ、歌いたい、演奏したいという気持ちを持ち、それを追求する過程で成功感や成就感を味わうことが、学校における音楽活動の本質ではなかるうか。新学習指導要領でも、情意的な面を強調する目標が示されている。私は特に次の二点を重点に指導している。

(1) 主体的に活動する中で充実した喜びを体得できる指導

感性を高める合唱指導



(2) 豊かな響き、美しい音色に関心を高める指導

課題把握(感じとる)
聴き合う、歌詞の読み取り、録音等から、自らが課題を見出し、解決の手順や見通しを持つ。

課題解決(工夫する)
パート・ペア・個人また、発声・発音を含め、目的に応じた学習形態や練習方法を工夫し、互いに学び合える課題解決の取り組み。

合唱の練りあげ(高める)
全体のバランスやハーモニー・曲のダイナミックさなどの表情の工夫。

実践から、聴こう、感じようとする心や力、美に対する関心等が高められ、その日の成就感が明日への意欲につながると思う。

情操を高める環境緑化の推進

学校植林推進委員会助成校
坂下町立若宮小学校

くことにより、心豊かな児童が育成できると考えて、「自然とのふれあいを通して学び育つ児童の育成」をサブテーマとしてその具現化に取り組んでいる。

自然的环境に恵まれている本校の実態から、環境緑化という視点よりも、環境を活用し、児童が進んで自然体験活動ができる場の設定や活動のさせ方、体験発表などの視点から主題に迫りたい。

研究の具体的な取り組みとしては、

(1) 創意や学級の時間などに自然とふれあう体験的な活動の場を効果的に設定する

新任教職員コーナー

わたしの抱負

二か月が過ぎて

会津若松市立二箕中学校
教諭 高田 潔



子どもは実に豊かな感性を持っている。私の担当する英語の授業でも、予期しない発想豊かな反応を示すことがある。そのみずみずしい感性に驚くとともに、うれしさを覚える毎日である。

「個性」の二字が問われる中で、その個性という言葉に集約される一人一人の能力、適性、興味、関心、意欲といった多面的な要素を一度に捉えようとしても、これは一朝一夕にできることではない。子どもたちは、新しく学ぶものに対して多大な興味を抱いている。

私は、彼らの探索的な欲求に対して精一杯の回答を用意し、興味だけは失わせないことを目下の目標として努力していきたい。



新たな決意で

北塩原村立第一中学校
教頭 渡部 裕 二



学校訪問を控え、指導案が完成したA先生の喜びの声

が職員室に響いた。一緒に指導案をみてきた私にとっても大きな喜びである。

指導案に傾けるような情熱が、ややもすると希薄になったのではないかと思う最近の私にとって、A先生の目の輝きは印象深いものであった。私の助言した指導案が、生徒に成就感を味わわせる授業を生み出し、二十一世紀からの留学生といわれる子どもを生かすことを考える時、責務の重大さを痛感せざるを得ない。

本校は、校長を中心として活気あふれる職場である。共に教育を語り、生徒を生かす指導に対する情熱を失わず、新たな決意で率先し、努力していきたい。

楽しい学校

喜多方市立上三宮小学校
校長 森田 慶 一



「楽しい学校」を望まない人はいないだろう。しかし、その楽しさの質は時代とともに変わるはずである。

思考力、判断力、表現力の向上が要請されるのなら、児童のそれらの伸長を無上の喜びとして認め合いたえ合うのが真の楽しい学校のあり方であろう。

それは「A君が算数でこんな解き方をするようになったよ。」「学級会でBさんのすばらしい意見にみんな驚いたよ。」「C君の作文は自分の考えがたぐさん入ってくるようになったね。……こんな話が日常交わされるような学校であらう。

よい変容はよい指導の結果なのだから、先生もいっそう楽しさが助長されるに違いない。このように楽しい方へ進む学校でありたい。



〈総務課からひとこと〉

業務の自己点検は地球環境をも守る

私たちは、毎日随分多くの紙に囲まれている。ティッシュペーパー等家庭内での紙。新聞や雑誌など情報、娯楽としての紙。職場では、種々連絡、届け出等のため、さらには、それらのコピーのための紙。まさに膨大な量の紙である。

教育事務所から

〈指導課短信〉

各種論文募集について

- (1) 中学校・高等学校生徒の科学研究論文(野口英世賞)
- ・応募資格 県内の中・高校の生徒
- ・応募条件 四百字詰原稿 用紙十枚程度
- ・応募期間 九月九日(月)～九月十七日(火)
- (2) 中学校・高等学校生徒の国際理解・国際交流論文(朝河貫一賞)
- ・応募資格 (1)に同じ
- ・応募条件 四百字詰原稿 用紙五～十枚
- ・締切日 九月二十日(金)

(3) 福島県教職員研究論文

- ・応募資格 福島県公立幼稚園及び小・中・養護学校職員
- ・応募条件 四百字詰原稿 用紙三十枚以内
- ・締切日 九月二十八日(出)
- (1)、(2)は新規事業である。
- 管内からのより多くの応募を願いたい。
- なお、詳細については、指導課の方へ問い合わせを。

次代を担う子どもたちのためにも、このすばらしい地球の環境を守っていかないと考える。